

4月28~30日

150品種を並べ みとやラン・蘭・らんまつり

雲 南市農業振興センターで「第8回みとやラン・蘭・らんまつり」が開催され、たくさんの方の来場者でにぎわいました。



会場には胡蝶蘭やシンビジウムなどおなじみのランから珍しいものまで約150品種が並べられており、3日間を通じて展示即売が行われました。

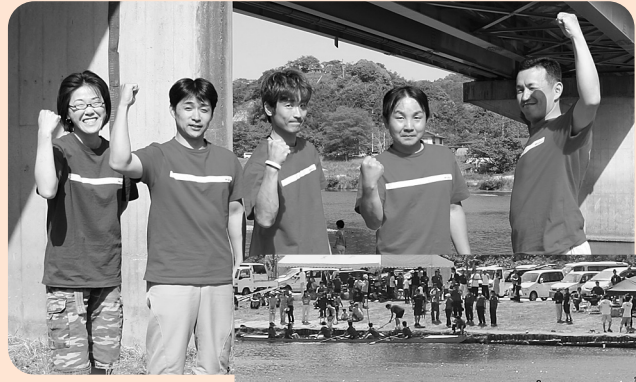
訪れた人々は鉢を手に取り品定めしたり、職員から育て方のポイントを聞いたりしながら、お気に入りの花を見つけていました。

29日、30日にはNHK趣味の園芸講師の富山昌克先生による「トミの蘭の育て方講演会」も開催され、ユーモアたっぷりな話される富山先生の講演に会場は大いに盛り上がりました。



5月13日

「キャッチ! ロー!」の掛け声で斐伊川お花見レガッタ



雲南男子の部で優勝したMRCのクルー

斐 伊川特設コースで、「第6回斐伊川お花見レガッタ」が開催され、市内外からおよそ90クルーが参加しました。今回は川の水位が低く、例年と逆の下流から上流に向かって漕ぐコースに変更して行われました。さわやかな五月晴れのもと、出場した各クルーは大きな掛け声を出しながら、力いっぱいオールを漕いでいました。

5月3日

健やかな成長を願い 子安観音祭

子 どもたちの健やかな成長を願う「子安観音祭」が吉田町で行われ、稚児行列が町内を練り歩きました。彩り鮮やかな和装姿の稚児（6歳児）11人が保護者や地元住民らに見守られながら、吉田保育所から吉田公園まで歩き、公園に到着すると、子安観音像に花を供え、手を合わせて「元気に大きくなれますように」とお祈りしました。



この日はわが子の晴れ姿をカメラやビデオに収めようとする保護者のほか、祭りのフォトコンテストへの出品をめざす多くの写真愛好家も訪れており、行列の華やかさ、稚児の可愛さを求め盛んにシャッターを切っていました。

5月13日

田植え雛子に合わせ 五百万石花田植え

掛 合町の春の風物詩「五百万石花田植え」が行われました。神職、雛子、早乙女ら80人の行列が、酒蔵資料館を出発し、途中「えがおの里」前で雛子を披露して、水田まで歩きました。水田での神事に続き、田植え



が行われ、一列に並んだ早乙女たちは、田植え雛子にあわせて手際よく苗を植えていきました。この花田植えによる酒米は、ふるさとの酒を造る会のメンバーらによって、醸造される予定です。

5月6日

古来の鉄づくり 小だたら体験



吉 田町の和鋼生産研究開発施設で「小だたら体験」が行われました。

全国から集まった、中学生から60歳代までの14人の参加者は、順番に木炭や砂鉄を小だたら炉に投入するなどして、達人から伝統のたたら操業を教わりました。



「平和を」の都市宣言のまち 永井隆博士生誕100年 シリーズ③

平成19年は、永井隆博士生誕100年の年にあたることから、博士が残した恒久平和と隣人愛のメッセージを振り返り、顕彰していきます。

永井隆博士は、病床にありながら千枚の色紙に「平和を」と書いて人々に配り、世界平和を呼びかけました。これにちなんで、現在、永井隆記念館では、「世界に届け平和の願い」と題して、千枚を目標に来館者に「平和を」の言葉を書いていただいています。

ご来場の上、一筆したためてみませんか。



永井隆記念館 ☎0854-45-2239

みなさまに書いていただいた作品は永井隆平和賞発表式典会場などに掲示する予定です。雲南市から平和の願いを全国に発信しましょう。

